

第8回日本プライマリ・ケア連合学会大分県支部総会・学術大会を開催しました。

2025年9月20日に第8回日本プライマリ・ケア連合学会大分県支部総会・学術大会を開催致しました。医師以外にも看護師・保健師、薬剤師、事務、学生と多職種の参加があり、54名の方が参加してくださいました。症例発表会『大分GIMカンファレンス』では、病院や診療所の医師、薬剤師から計6題が発表されました。ACPについて、内服抗菌薬の適正使用、そして薬局薬剤師・病院薬剤師双方からポリファーマシー対策についての発表がされました。特別講演では聖マリアンナ医科大学/川崎市立多摩病院 総合診療内科の家 研也先生に『多職種で挑むポリファーマシー対策～“減らす”だけじゃない新しい支援のカタチ～』のご講演を賜りました。患者中心性や継続性がポリファーマシーにも役立つこと、多職種ミーティングが組織文化を醸成する効果があることを教えてもらいました。特に患者さんにも意思決定に入ってもらうこと、患者さんの価値感や意向を大事にすることを教えてもらいました。そして、現状の処方に満足し、慎重なタイプの人には減薬が『侵襲』的になることがある場合にはハッとさせられました。

プライマリ・ケアの現場では多くの物語が渦巻いています。そこに真摯に向き合うことの大切さを再確認させてもらいました。今後も継続して開催していきたいと思います。





文責：日本プライマリ・ケア連合学会大分県支部事務局 藤谷 直明